

朝日共販株式会社 <https://www.shirasu.jp>

愛媛の佐田岬から、世界で勝負する。

<事業者の概要>

1. 所在地：愛媛県西宇和郡伊方町川之浜652-1
2. 代表者名：代表取締役社長 福島 大朝
3. 主な輸出品目：釜あげしらす、ちりめん、アカモク等
4. 主な輸出先国・地域：タイ、台湾、香港等
5. 事業概要：水産食料品（釜あげしらす、ちりめん、カニ、海藻等）の製造及び販売。第10回「ディスカバー農山漁村（むら）の宝アワード特別賞」（環境保全賞）受賞。



「釜あげしらす」の製造状況



定番商品「釜あげしらす」

【輸出の取組内容】

- 2020年から「釜あげしらす、ちりめん」をタイ、台湾、香港等に輸出。
- 輸出先国の食品衛生基準への対応としてFSSC22000認証を取得。
- 2022年に海外事業部を設置し、輸出先国の各購買層（富裕層、中間層、日本人等）における嗜好、購買力、行動傾向、ニーズを把握するためのマーケティング、ターゲットを絞り込んだ商品展開を行う。

【取組経緯】

- 愛媛県はイワシ稚魚の産地であるが、漁業従事者の担い手減少、設備の老朽化が深刻化している。輸出による新たな需要を見出し、漁業従事者の減少に歯止めを掛けるとともに、所得確保、雇用安定を図る必要性があることから輸出事業を開始した。

【課題と対応方法】

- 避けがたい異物混入
目視による選別、X線探知機・金属探知機等の日本の技術による厳しい検査を行い、精度の高い異物除去を行う生産ラインを構築する。
- 輸出先国別の需要の把握
国別の需要の把握が困難であるが、県やジェトロ事業の活用、商談会や展示会、ECサイトへの登録により販売網を強化する。

【実績】

輸出額(万円)		輸出国・地域割合(%) (2023年)	
2021年	289	タイ	75
2022年	936	台湾	20
2023年	279 ※全国的なイワシ稚魚不漁のため	その他	5

【今後の事業展開】

- ✓ 輸出先国毎に異なる「嗜好、購買力、行動傾向、ニーズ」に沿ったマーケティングを行う。
- ✓ 和食の健康効果を謳い外食、中食におけるメニューを提案し商品開発を行う。
- ✓ 流通販売網を強化し、2026年に輸出量60倍（2020年比）を目指す。



朝日共販株式会社